

1. 特に効果的であり改善に資した事例について

E. 学習・研究環境の改善

②国内外の学会発表、実習等に対する経済的支援の充実

《人社系》

●東北大学文学研究科歴史科学専攻

「歴史資源アーカイブ国際高度学芸員養成計画」の事例

(具体的に何を実施したのか)

博物館、美術館、遺跡、文書館など国内外の多くの機関において、大学院生が研修・実習を行う機会を提供することができた。

(実施に当たり特に考慮・工夫したことや、注意を払ったこと)

大学院生自身に研究プロジェクトを計画させ、申請書を作成させた上でそれを審査し、採択課題に経済的支援を与えることで、大学院生の主体的行動を促した。プロジェクトの支援を受けた課題については授業で成果発表を行い、プロジェクト遂行のための手法を共有することを試みた。なお、大学院生が実習・研修に出かけるために、会計処理が複雑となり、事務方の大きな協力を得た。

(どのような結果が得られたのか、どのような良い影響があったのか)

GPが無ければ不可能な規模で、多くの大学院生を派遣することができた。特に、海外に派遣する豊富な機会が得られた。それにより、各院生はキュレーターやアーキビストに関する国際的な視野を得ることができた。また国際的なプロジェクトを計画・遂行することが当然であるという認識が共有されるという、大きな成果が得られた。